

「愛情と熱意にあふれた質の高い教員の育成」に関連する現在の取組

【視点1】教員としての高い適性を持った人材の育成

①教職インターンシップ（「ちば！教職たまごプロジェクト」）

本県公立学校教員を志望する大学生、短期大学生及び大学院生を対象に、県下の公立小学校・中学校及び特別支援学校での実践研修を体験する機会を提供している。

参加する学生は年間30日以上、学級担任の補助として授業の中での個別支援を行ったり、学校行事の準備や運営を教職員とともにしたりしながら、体験的に教員という仕事への理解を深めている。

26年度の実施校数・研修生数

	実施校数	研修生数	
		教諭	養護教諭
小学校	641校	769名	41名
中学校	114校	145名	—
特別支援学校	34校	148名	—
合計	789校	1,103名	

②高校における「教員基礎コース」

（千葉女子高校と安房高校の普通科に設置（平成26年度））

（設置目的）

将来教員を目指す生徒が、教員としての基本的な素養を身に付け、夢や意欲、職業意識などをはぐくむ

（教育活動の特色）

小・中・特別支援学校等での教育体験、教員養成系大学等の出前授業や特別講座による専門的な学び

③「お兄さん、お姉さんと学ぼう」事業

高校生のキャリア教育の充実及び小・中学生等の学ぶ意欲の向上を目的とし、高校生が地域の小中学校等で授業の指導補助や読み聞かせを行うものである。

教員志望の高校生にとって有意義な社会体験活動となっており、また、小中学生にとっては身近な高校生からの支援を受けながらいつもとは違う体験的な学習により、つまずきを乗り越え楽しく学ぶことができ、学習意欲の向上につながっている。

26年度の実施状況

指定校	千葉女子高校、千葉南高校、八千代高校、国府台高校、小金高校、柏高校、佐原高校、匝瑳高校、成東高校、長生高校、安房高校、君津高校（全12校）
主な支援内容	授業の指導補助、夏季課外授業における指導補助、水泳教室の指導補助、理科工作教室、吹奏楽の楽器演奏の個別指導、読み聞かせ等

【視点2】個々の教員の授業力・指導力の向上

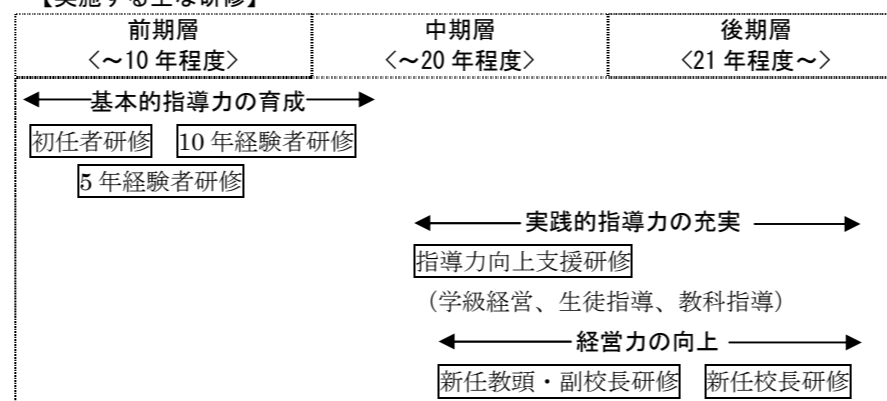
①「千葉県教職員研修体系」に基づく研修事業

千葉県の教職員研修の一層の充実をめざし、平成22年3月に「千葉県教職員研修体系」をまとめた。

教職員が絶えず研究と修養に努めることにより、以下の5つの資質能力の向上を図ることとしている。

- ア 人間性・高い識見・情熱
- イ 教育の専門家としての確かな力量
- ウ 組織を支える力量
- エ 社会の急激な変化に対応できる資質
- オ ライフステージを通して研究と修養に努める資質

【実施する主な研修】



②「魅力ある授業づくりの達人」

小学校及び特別支援学校小学部の教科、領域指導において、卓越した技能と専門性を生かして効果的な指導を展開している教員を「魅力ある授業づくりの達人」に認定し、その実践を授業公開や近隣校の授業支援、研修会での発表等

26年度の実施状況

公開（達人による授業公開等）	237件
支援（指導助言、資料提供等）	787件
発表（研究・実践発表、講話等）	176件
合計	1,200件

③「体育の授業マイスター認定事業」

優れた指導力を有している教員を「体育の授業マイスター」として認定し、マイスターが行う模範授業の公開や、他校における授業への取組みや、研究発表等に対する指導・助言、さらには、優れた指導技術をDVD等に収め、各学校での授業づくりへの活用等を行い、県下の小学校の体育授業の改善に役立てる。

【26年度の体育の授業マイスター】

各教育事務所から15名を認定（男12名、女3名）

【活用状況】

- 模範授業の公開 延べ41件、477人が授業を参観
- 近隣校の体育授業に対する指導・助言 延べ60件、1,193人に対して実施
- 指導技術を記録したDVD等の活用 延べ2,846件、14,583人が視聴

【視点3】学校全体の教育力の向上

①専門人材の活用

・学習サポーター派遣事業

退職教員や教員を志望する学生等を、「学習サポーター」として市町村立小中学校（千葉市立を除く）に派遣し、児童生徒の基礎学力の底上げや学習意欲の向上を図っている。

26年度の実施状況

派遣状況	165校（小：119校、中：46校） ※派遣校1校に学習サポーター1名を配置
実績	・放課後等における児童生徒への学習支援 ・授業中における児童生徒への学習支援 ・家庭学習の充実・習慣化づくりに係る業務

・外国語指導助手（ALT）の活用

国際化に対応した学校教育推進の一環として、外国語指導助手（ALT）を活用し、外国語教育及び国際理解教育の充実を図っている。平成26年度は53名のALTを123校に配置した。

26年度の配置状況

	高等学校	特別支援学校	中学校	合計
配置校数	100校	22校	1校	123校

・スクールカウンセラー等の人材の活用

いじめ、不登校、暴力行為などの早期発見・早期解決のため、スクールカウンセラーを配置し、児童生徒、保護者、教職員等からの相談対応等の支援を行う。

また、福祉等の関係機関との連携を図るなど、児童生徒の抱える問題を取り巻く様々な環境に働きかけ、問題の解消を図るために、スクールソーシャルワーカーを配置し、支援を行う。

26年度のスクールカウンセラー配置状況

	小学校	中学校	高等学校	教育事務所等	計
配置所属数	35校	326校	70校	6所属	437

②地域とともに歩む学校づくり推進支援事業（学校支援地域本部）

地域全体で子供たちを育てる体制づくりの実現に向けて、学校と地域の連携の下、PTA、地元企業等とも協力しながら、学校を支援する取組を推進する。

【主な活動内容】

- ・授業補助 地域人材を活用した授業支援、補修時間等の学習支援 等
- ・登下校安全指導 登下校時の見守り活動 等
- ・環境整備 木々の剪定、図書館整備、施設修繕 等
- ・その他 学校行事への協力、クラブ活動等での指導補助 等

③「学校問題解決支援チーム」による支援

医療・法律・心理などの専門家及び関係課から成る「学校問題解決支援チーム」会議の開催等を通じて学校問題（学校等だけでは解決困難な問題）の解決に向けた助言等を行うことにより、教職員の負担軽減を図っている。